

成果の説明書

(氏名) 原 史子	(学部) 地域政策学部
<p>1 重要事項</p> <p>(1) 教育活動</p> <ul style="list-style-type: none">・初年次ゼミ、基礎演習、介護等体験実習、児童福祉論、社会福祉論、家庭福祉論を担当した。・講義科目では、パワーポイントのレジュメを配布し、具体的な理解を得られるよう映像教材を必要に応じて用いた。また、毎回の講義で受講生に Forms によるリアクションペーパーを記入してもらい、質問や共通して理解を補う必要がある箇所について、次回以降の講義でフィードバックするよう努めた。・介護等体験実習はコロナ禍の影響により途中から代替課題で対応せざるを得ない事態が生じた。感染への配慮を含め慎重かつ臨機応変な対応が求められた。・着任初年のため、専門演習は基礎演習のみであった。文献講読をふまえたフィールドワークを予定していたがコロナ禍で実施できなかったため、実務家をゲストスピーカーとして招聘し、子育て支援に関する具体的な自治体の活動を紹介して頂く機会を得た。 <p>(2) 研究活動</p> <p>社会的養護経験者の支援に関する研究に取り組んでおり、次年度から予定している調査にむけて、資料収集、文献読解、予備調査を実施した。</p> <p>【学会活動等】</p> <ul style="list-style-type: none">・子どもの虐待防止学会に参加した。・人間福祉学会の理事として運営に関わった。・日本社会福祉学会査読委員をつとめた。 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none">・「児童・家庭の生活実態とこれを取り巻く社会環境」『社会福祉学習双書 第5巻児童・家庭福祉 改訂版』全国社会福祉協議会（2022年2月）を執筆した。・「子ども虐待・ドメスティックバイオレンスとその防止」「貧困家庭、外国籍の子どもとその家庭への対応」『新・基本保育シリーズ3 子ども家庭福祉別冊課題集』中央法規出版（2022年4月発行）、「要保護児童およびその家庭に対する支援」『新・基本保育シリーズ5 子ども家庭支援論別冊課題集』（2022年4月発行）を執筆した。 <p>(3) 社会活動</p> <ul style="list-style-type: none">・社会福祉法人中日新聞社会事業団の理事として運営に関わった。	
<p>2 その他の事項</p> <p>児童福祉実践の場で働く専門職者と年数回の研究会を継続して開催してきた。今年度はコロナ禍により1回の開催となったが、コロナ禍における児童福祉施設の実践を学ぶことができた。</p>	
<p>3 次年度以降の計画・抱負</p> <p>(1) 教育面</p> <p>講義については、今年度担当した科目の改善を行い、学生の積極的な講義参加を促せるような方法を模索したい。演習については、演習Ⅰが開講となるが、卒業論文作</p>	

成に向けてきめ細かい指導を行っていきたい。フィールドワーク等については、コロナ禍での制約に即して実施を検討したい。

(2) 研究面

2022 年度より科学研究費助成事業（基盤研究 C）の助成を受け、「児童養護施設退所者の『多様な親密圏の担保』に向けた施設による支援の再考」という課題を軸に取り組む予定である。本年度実施した予備調査により、研究計画等を精緻化し主に調査研究を進めていきたい。